

大和川の鯉

島国であり山国でもある日本。そこには無数の美しい川が流れている。しかし近年の目覚ましい工業化による工業廃水、土地開発を優先する自然破壊、家庭排水など水質汚染の悪化は多くの弊害をもたらしている。

奈良県笠置山地の貝ヶ平山（標高 822m）を源流とする大和川（一級河川）は奈良盆地の水を集め、奈良県と大阪府の境にある亀の瀬溪谷部を経て、大阪市と堺市の間を通り大阪湾に流れ込んでいる。延長 68 k m。平均水量 13.51 m³/秒の大河である。

この川も奈良県などで下水道の普及が遅れるなどの原因もあって、全国でもトップレベルの水質の悪さを競って

きた。私も大阪平野区の大和川沿いに数年住んだことがある。小さな子供がいた頃で良く散歩に出かけたものだ。しかし川に足を付けようとか、増して水泳など考えもしなかったほど水質は悪かったように記憶している。その後の大和川は水質改善の努力もあり、2010 年の調査では全国ワースト 3 位まで挽回しており、環境省の水質基準を満たしている。

奈良県から生駒山系を抜けた大阪府柏原市は、大和川にとっていくつかの川が合流する地点でもある。そこに私の親しい先輩がおり月に 1 度は訪ねて旧交を温めている。この近くを流れる大和川に懸る橋に立って暫し物思いに耽るたこともあった。そこから見える川には大きな鯉が緩やかな流れの中、ゆっくりと泳いでいた。私もあの鯉の如く大河の中を悠々と生きる人生でありたいと思った。

撮影 2011 年春

